

麦酒叢話



麦酒叢話 目次

【一】心得

【二】麦酒目録

甲. バドワイザー (Budweiser)

乙. Golden Ale 「黄蘗富士 (きはだふじ)」

丙. 静岡限定ビール 静岡麦酒<樽生>

丁. 限定醸造 秋味

戊. ドラフトギネス (GUINNESS DRAUGHT)

【三】呑処目録

甲. BAR U.N.逢縁

乙. U.N.逢縁 Osaka Nazdrowie.

丙. BAR Flandre

【四】追伸

甲. 蛇足

乙. 出典

【一】心得

本誌「麦酒叢話」は、ビールとお酒にかんする個人的な話題をあつめた同人雑誌です。

「麦酒目録」では、筆者のお気に入りのビールを5つ選んで紹介します。少ない？でも世のビール全部は紹介しきれないし…「呑処目録」では、特に東方のファンにおススメしたい呑みどころを紹介します。紹介したビール・呑みどころはいずれもイチオシですので、是非とも呑んで・来店して下さい。

ご存じの通り、お酒を呑んで良いのは20歳以上ですから、若い人はしばらくおあずけです。ハタチになってからの楽しみを増やす情報として見て下さい。お兄さん・おじさま方は一般中年の与太話として読んでもらえると幸いです。全編酒を呑みながらレビューしているので、変な事が書いてあってもどうかお許してください。

ところで幻想郷では何歳からお酒が飲めるのか。誰でも何歳でも呑んでそうだし、決まりは有って無いようなものかもしれません。早苗さんは、一体何歳なのか。…そこのあなた、レディーに年齢を聞いてはいけませんよ。

狩野 カチロー

【二】麦酒目録

甲．バドワイザー（Budweiser）

500ml のロング缶が沢山入っていておススメ。

しかし売っている店があまり多くない…350ml 缶の方はポピュラーで、よく出回っている。

まず開封すると、ほのかに甘い香りが漂うが極めてささやか。缶から離れると香りが感じられないくらい。ひとくち飲むと優しい泡に乗って、軽やかな麦の味わいが通り抜ける。のどごしが実に爽やかで、刺激が強すぎない。後味も軽めで、苦味が少ないので次々飲める口当たり。自分がビールを飲んでいることを忘れそうなくらいに軽い。後味が長く残らず、食事と一緒に飲んでも何ら問題ないライトなビール。つまみは何でも OK、ビールが甘めの味わいなので辛めのつまみが有ると良いかもしれないが、制限なし。いつでもどこでも飲める万能な一品。香り味わい共にライトなので、最初にトライするビールとしてもおススメ。猛者は水代わりに飲むとか飲まないとか…

辛めの味や強いのだごしを求める人には、ちょっと物足りないかも。まあ水なので、仕方ないですね。

<購入方法> 家の近くの酒店や量販店で買う or 通販
お値段は 300 円前後。通販で多量に買うと、1 本あたり 200 円を下回りとってもお得です。水代わりに飲む人は通販が便利。おうちの近くでロング缶が売っているとラッキー。



公式サイトビジュアルがカッコいい。メインカラーはビビッドな赤色。なんかツアーイベントをやっているみたい。実物のロング缶は図の通り。いいねえ～

つまみはカップ麺と海味鮮。
おなかへっちゃってね…
こんな感じに普通に食事をする
ようなペースで食べていても、
どんどん飲めるビールなのだ。
食べすぎによる増量に注意…



乙. Golden Ale「黄蘗富士（きはだふじ）」

富士山の伏流水を 100%用いて作られた、静岡県富士宮市のクラフトビール。市内のレストラン Mt.Fuji Brewing で販売されている。店舗から雄大な富士山が見え、すぐ前を流れる神田川にその湧き水が流れ込んでいる。人気のクラフトビール 3 種類は缶ビールとして販売されており、オンラインで購入可能。お試し用と贈答用があって便利である。

高級感が漂う露草色の缶を開封すると、芳醇な麦の香りに加えて、どこか甘い香りが漂う。柑橘系のような、リンゴのような…パイナップル??期待を胸に一口飲みほすと、非常に柔らかい口当たりの泡を感じた先から、また甘い香りが広がってくる。何の香りかとても気になるが、一つ判るのはビールの麦の香りと見事に調和し、心地よいということ。後味はまろやかに残り、気になる香りが過ぎ去っていく。後味はなんとなく、酸っぱいフルーツを食べた後に似ている。

実はこのビールのフレーバーはレモン系のハーブとグレープフルーツからなるので、酸っぱいフルーツというのは外れではない。ビールにレモン??と思ったが、飲んだら納得、これは見事な出来栄である。麦の香ばしさと苦味は抑えめで、甘さと酸っぱさを持つレモンフレーバーが合わさることで、オンリーワンのジューシーな味わいが完成する。言葉で表現しきれない美味さと感動があり、ぜひとも実際に飲んでほしいと思う一品。通販でも買えるのでぜひ。

黄蘗（きはだ）はミカン科の植物の名前で、樹皮を用いた染め物は明るい黄色になるようである。缶の上部にある黄色い帯のデザインがまさにこれなのだろう。王道的な黄金色（ゴールデンエール）のビールの名前として最適だ。名前と言えば Mt.Fuji Brewing のクラフトビールは、「〇〇富士」と富士の名を冠している。缶ビールで飲めるのは黄蘗富士の他に「柑子富士（こうじふじ）」「白茶富士（しらちゃふじ）」の2種類で、これら3種類が1本ずつ入った「Mt. Fuji クラフトビール3種飲み比べセット」が販売中である。3本とも全く異なる個性的な味わいで、甲乙つけがたい。富士山を思わせる三角形のパッケージはビジュアルも

楽しめるので、ギフトに最適。ぜひ、どうぞ。



丙．静岡限定ビール 静岡麦酒＜樽生＞

数量限定と書いてあるが、中々買えないなんて事は全くない。静岡県内の各所で販売されている、県民の間ではポピュラーなビール。駿河湾を思わせる広大な青を背景に富士山が描かれたパッケージの中央に、SAPPORO の☆が映えてカッコいい。開封するとフルーティーな、爽やかな香りが漂ってくる。

缶を傾けて1口、いや欲をかいて1.5口分をぐいっと飲みほすと、炭酸が効いていて口から喉へ快感が通っていく。後味は重すぎないが、しかし確かに麦の香りを残していく絶妙なバランスである。少し苦味が強いかな？と思ったのもつかの間、風味は過ぎ去り、麦の香りを残していった。弾ける炭酸の感覚、ふと気づきを与える一瞬の苦みと、そよかぜのように抜けていく麦の香り。あれこれとポエムを書けるくらい、楽しく飲める良いビール。

このビール、静岡県内の新幹線の駅で売られている姿をよく見かける。実際筆者も新幹線に乗るたび、これを買って飲んでいる。新幹線で移動中の時間は、

（回線が遅くて大したことができないので）仕事や個人的な用事からも解放される、プライベートで貴重な時間である。そういう時間を、ゆっくりビールを楽しむために使う。これが最高の贅沢である。静岡麦酒を買って冷房の効いた新幹線に乗り込み、ビールを傾けて楽しみながらうたた寝…そういう贅沢、いいよな。

このビールはパッケージがイチオシ。
 見てくれこの青き海、神秘なる霊峰富士を…
 といってもモチーフが本当に海なのかは不明です。



ちなみに今回のツマミは
 イカマヨに決定。ビール
 だけでも十分に楽しめる
 けど、少しお口が寂しく
 なった。何でも合いそう
 ではあるが、味が濃くな
 いツマミのほうがビールの
 味がや香りを良く楽し
 めて良いかもしれない。
 カリカリで良い食感。



丁．限定醸造 秋味

毎年秋頃になると発売される、季節限定のビール。デザインが毎年新しくなるため、味と見た目の両方に期待して発売を待つファンは多い。2024 年は 8 月 20 日に発売された。350ml と 500ml の缶がありどちらも楽しめるが、公式サイトでのビジュアルにも基本的に 350ml 缶が出てくる通り、個人的に秋味といえは 350ml 缶のシルエットを思い起こす。

キンキンに冷えた缶を開封すると、意外にも香りは控えめ。しかし一口のみほすと、かなり濃厚な麦の味わいが口に広がる。炭酸が他のビールに比べて強めなのか、いわゆるキレのあるのどごしが個人的趣味に合っている。後味は軽やかであり、飲んでいる最中の感覚に集中しているといつの間にか過ぎ去ってしまう。

名前の通り、夏冬の間にすぐ通り過ぎてしまう秋そのものをあらわすビール。期間は短くとも、鮮やかな印象は確かに記憶に残る。シーズンが過ぎたら、また来年まで待ち続ける…麦の味が濃い一方で後味が軽めなのでどんどん飲めてしまうが、そこはしっかりアルコール 6%なので、あんまり飲みすぎると酔ってしまう。でも秋味を飲んで、香りが去ったら塩ピーナツを食べて、秋味を飲んで…とやっていたら終わりがなくなってしまうのだ。この時間を楽しめるのも秋の季節だけ、儚くも尊い一品である。なお Twitter もとい X をみると、毎年秋味の発売時期を知らせるだけのアカウントが在る。多数の熱烈なファンを生んだ名作。

秋味のパッケージがお気に入り、という人は多いのではないか。秋の紅葉を表す鮮やかな色使いに、伝統的な麒麟のエンブレムが描かれている。個人的には、2020 年以降の白背景に紅葉が描かれているパターンが好きである。今回のおつまみは 2 種類用意したが、普段は主にピーナツの方を好んで食べている。



戊. ドラフトギネス (GUINNESS DRAUGHT)

開封するとすぐさま芳醇な香りが漂ってきて豊かな気分になる。口当たりは柔らかいが、濃く苦味が強い味わい。のどごしは軽めで、すんなり入っていく感じ。しかし飲みきった後の余韻が長い。飲んでから2, 3回深呼吸をしても、スモーキーな麦の香りが確かに感じられる。吸う息も、吐く息もうまい。(あくまで飲んでいる本人の話。他の人に吹きかけるのはマナー悪) この香りを含めて、ゆっくりじっくり楽しめる一品。これがクセになって、時々手に取ってしまう。ビールの味が強いので、つまみは味が濃すぎないものにする。王道的なピーナッツが結構合うかも。さて時折缶の中からコロンという音がするが、これは「フローティング・ウィジェット」といいクリーミーな泡を作り出すためのカプセルである。缶からそのまま飲むときには目立たないが、グラスに注ぐときにはきめ細やかな泡が帽子のようにかぶっている様子を持つことができる。いわゆる黒ビールであり初めて飲むビールとしてはちょっとハードルが高いかもしれない。しかし麦の香りが好きになれば楽しめると思うので、チャレンジしてほしいと思う。

グラスに注いだ時の泡→
こんなに泡が細かい
ビールは、他にないかも。





公式サイトはシックでカッコいい感じのデザイン。
 グラスに注いだビールは見事な黒色。うーん綺麗。
 つまみはちょっと甘めのおやつを選んだ。
 辛いものには、甘いものを合わせたい。
 これが止まらないんだよなあ。



【三】呑処目録

甲．BAR U.N.逢縁

オタクバー U.N.逢縁 (Twitter もとい X @bar_u_n_owen)

住所：東京都江東区亀戸 6-56-8 2F

東京駅から 20 分、JR 亀戸駅の東口を出て 5 分ほど歩くと到着する。写真の通りお店はかなり広く、イベンド前などの混雑時は 20 人以上のお客さんが入ることもある。豊富な飲み放題メニュー、フードメニューに加えて、しばしば追加されるオリジナルメニューを楽しむことができる。個人的なお気に入り、カレーライス、麻婆豆腐に、肉を焼いたやつ。

東方キャラクターをモチーフとするカクテルはどれも個性的で、甲乙つけがたい。自分のお気に入りのキャラクターのカクテルを注文するのが良い。筆者としてはチルノモチーフのカクテルが甘くて飲みやすいと思う。カウンターの上部にはモニターがあり、ゲーム画面を映して東方 STG を遊ぶことができる。またカラオケも利用可能で、お客さんが多いときは常に誰かが歌っている。人が多きときは活気があって大変賑やかな雰囲気、一方少ないときは静かに、落ち着いて酒とゲームを楽しめる。客層は幅広く、筆者を含めた東方のゲームを楽しむ人、イラストや音楽を作る人、イベントを企画する人、大酒飲みなど様々な人が来店する。混雑具合によってお店の様子が変わるので、比較的空いている平日と混んでいる週末、それぞれのタイミングでお店に行ってみると面白い。もしも飲み放題で呑みすぎたり終電が無くなったりしても、亀戸駅周辺にはホテルやネットカフェが沢山有るので安心。コロナ後の時期はホテルが安く、筆者はホテルマイステイズ亀戸をよく利用した。最近はホテル代が高くなってきているので、酔っぱらう予定の人は事前に宿をとって計画するか、ネカフェの座席で夜を過ごすストロングスタイルで訪問されたい。前者推奨…



Twitter もといXで鬼バズりしたリニューアル後の看板。オシャレだなあ。東方のファン層に改めて知れ渡り、行ってみたい！という声が多い。中には未成年も居るようだった。未来の酒飲みたちに乾杯。ん〜酒がうまい！



乙. U.N.逢縁 Osaka Nazdrowie.

オタクバーU.N.逢縁 Osaka Nazdrowie.

住所：大阪府大阪市中央区東心斎橋2丁目2-7 タワーエーステートビル9F

日本で最もカオスな都市、大阪。なんば～心斎橋あたりは様々な言葉を話す人が忙しく行き交い、宛ら令和日本のメルティング・ポットである。なんとなく皆決まった方向に歩く東京と違って、人々が見る先はバラバラである。夜でも光が沢山有るので明るい、自分と同じところに向かう人が居ないとなんだか暗い獣道を歩くような心細さを感じる。なんば近くの近鉄日本橋駅から北向き、または大阪メトロ心斎橋駅から南向きに歩くと目的地。ビルの看板を見つけてエレベーターに乗れば一安心。9階に上がって左すぐの扉を開けると、そこは一等イカした呑み処である。

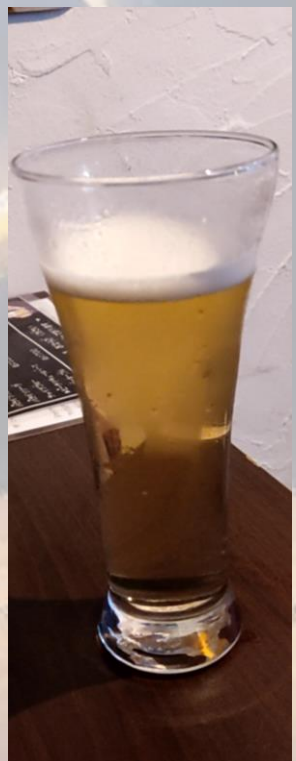
壁一面のポスター、フィギュアギャラリー、BGM…驚くほどに濃密でピュアなおタク・カルチャーがある。Osakaの推しポイントはいくつもあるが、とりわけ大きなものはオリジナルカクテルのサービスと、気合いの入ったフードメニューである。オリジナルカクテルは一覧から選ぶというより自分でリクエストを出す仕組みであるが、最初は何を頼んだものか悩み所である。東方ファンはお気に入りのキャラクターをお願いすると良いだろう。その場でリクエストに沿って色合い・構成を作ってもらえるが、これがまた見事である。味も勿論最高だが、何しろビジュアルが良い。性格が良いイケメンみたいな。キャラクターによってはギャラリーからフィギュアを借りて、記念撮影もできる。筆者はチルノをリクエストし、フィギュアと一緒に写真を撮らせてもらえた。次にフード。よくあるサブカルバー的な場所だと、フードはオマケ程度になりがちである。このフードはすごいぞ。飯だけ食べに来たと言っても、「勿体ない」とはならない。飯だけでも食べに行きたい。「Osaka 行ってきた」というツイートを探すと、フードのバリエーションとクオリティに驚く。1回で制覇するのは難しいので何回も通ってフードを注文したいところ。勿論お酒も。



そういえば店長さんはシュワちゃんみたいな肩幅のマッショマンであり、
筆者のイチオシは三角筋と三頭筋である。常人ならざる体格を見ると大の
おとなでもチビってしまうが、紳士的で優しい上にキッズにも優しい。
加えてそこは大阪、ノリも良いのだ。前述の通り酒が飲めなくても十二分
に楽しめるため（フード◎飲み物はノンアルで）、未来の酒飲みたちも
ひと足先に来店可能である。カオスの海で灯台を目指すごとく、大阪に
繰り出そう。来店前にはTwitter もといXでの事前予約を推奨。
＜お得な情報＞狩野は若者と飲んだら基本酒代は持ちます。偶然居合わせ
たらお小遣いを気にせず吞もう！（お酒は二十歳になってから。）



最強



丙. BAR Flandre

幻想 BAR Flandre (Twitter ID @haru13taka12)

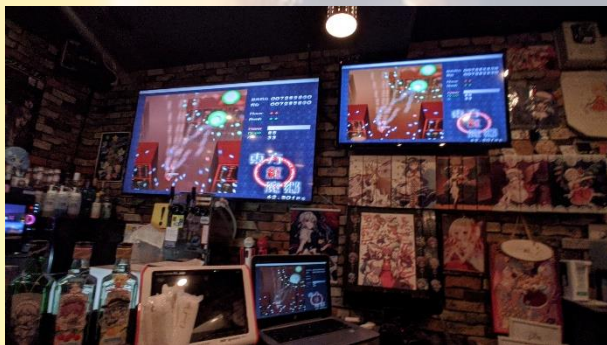
住所: 北海道札幌市東区北 27 条東 7 丁目イトービル 2F

札幌市は市内の地下鉄網が発達しており、大変便利である。筆者はさっぽろ駅から地下鉄東豊線を使って元町駅まで移動し、徒歩 10 分くらいで到着した。スナックやバーが入っているビルディングの看板を見ると、可愛らしいにとりをの看板発見。2 階に上がると 1 つのフロアに複数の店舗が入っているが、にとりのボードが有るので場所に迷うことはないだろう。

コンパクトな店内には多数の素敵な東方グッズやお酒が並んでおり、その様子を見るだけでも楽しくなってくる。店長さんは東方の原作にも二次創作にも明るく、多方向の話題に応じてくださる。店内レイアウトの大きな特徴は、3 方向にある大型ディスプレイを用いて、がらりと店内の雰囲気を変えられることだ。東方の動画や音楽を流せばサブカルバー、カラオケで朗々と歌えばカラオケバー、ゲームをやればゲームバーの雰囲気に早変わり。それら全てに店内のグッズや装飾が調和し、いつでも居心地の良い空間になっている。イベント時には沢山ぬいぐるみが並ぶことも。もちろんバーなのでお酒を味わう所だが、どちらかというと言より質、お酒そのものをじっくり吟味して感じる飲み方が合うように思った。東方のキャラクターカクテルを注文すると、見た目も香りも楽しめる素敵なお酒が提供される。筆者は 20 時の開店から長時間にわたって滞在し、ゲーム・酒・歌と色々な雰囲気を味わい、大変満足した。ちなみに店内ではトートバッグやコースターなど、バーのオリジナルグッズを買うことができる。遠方から来た東方ファンはぜひ入手したい。お店は北海道にあるので、首都圏より南からは空路がおすすめ。



とにかく
写真を
載せたい！



【四】おまけ

甲．蛇足

筆者はもともと、チェーン店で酒を呑むのが好きだった。好きというかそれしか選択肢を持たなかった。主にモンテローザ系列とか、庄やとかに行くことが多かった。チェーン店はどこに入っても一緒だし、常連も初見もないから注文と会計以外にルールが少なく、失敗しづらい安心感があったのだ。一方でチェーンではない店だと、当然よく来る人の間で理解されるローカルな決まりや流れがあって、初見では付いていくのが難しいことがある。極端な例だとラーメン〇郎みたいに、事前の知識無しでは理解不能なルールが有る店も、無いでもない。そういうイメージで、個人店に入るのは少し気が引けていたのだった。しかし安全と判るところだけに行くのは悪くないが、何も起こらないので面白くない。新しい何か、面白いことを見つけないと思った。

いざ余所者としてどこかに入っていくにあたり、大事な情報は共通の話題である。若者が会社の飲み会で困るのは、仕事以外に共通の話題が無いからである（年代が違いすぎるからある意味当然）。普段ゲームやアニメばかりに時間を使っているオタクが持つ、社会的に有用な話題は少ない。そういう人間でも入っていけそうな呑み処を探したところ、サブカルバーが目に入った。少なくともサブカルチャーは OK なのだから、まったく浮いてしまうことはないだろうと思った。実際問題はなかったのだが…

次の壁は、一口にサブカルと言ってもあまりに多様であることだった。古くはガンダムやマクロスに始まり、現在放送中の作品までどれが好きでもアニメファンに変わりはない。アニソンも然り。ゲームファンなんて更に多様で、商業もインディー（同人）もフリゲーも何でもありである。筆者の専門(?)は 2D シューティングゲームであり、ゲームジャンルの中のかなりマイナーなサブカテゴリーにあたる。アニメやアニソンも、学生の時分に少し記憶がある程度である。話題が噛み合う人が居ないのである。サブカルバーなので噛み合わなくてどう、という事はないが、誰でも知っている程度の話に相槌を打って後は静かな様子ではあまりに寂しい。より話を続けられそうな場所は、どこかに在るだろうか…？

そこで見つけたのが東方ファンの集まるオタクバーである。客層は東方ファンに限らないが、基本的に少しは東方を知っている人が来店する。ここならある程度東方の知識があれば、まあまあ話を続けることができそう。しかも東方が特別なのは、原作より二次創作の方が規模が大きいことである。二次創作はまとまり無く散逸しているため、お互いのお気に入りを知らなくても「仕方ないね」と了解できる。そんなわけで、シューティングゲームがメインの東方ファンという妙な属性の人間が居ても OK な場所として、オタクバーに出入りするようになったのである。

今回紹介した呑み処はそれぞれ个性的で、テーマが異なる。しかし筆者というマイナーなオタクが居ても良い場所であることに違いはない。本誌が読者の酒飲みライフにとって、何らかの参考になれば幸いである。

乙．出典

紹介したビールの公式ホームページ

バドワイザー：<https://www.budweiser.jp/>

黄蘗富士：https://mt-fuji.beer/canned_beer/

静岡麦酒：<https://www.sapporobeer.jp/shizuokabakusyu/>

秋味：<https://www.kirin.co.jp/beer/akiaji/>

ドラフトギネス：<https://www.guinness.com/en>

紹介した呑み処の公式ホームページ

亀戸 オタクバー U.N.逢縁

<https://barunowen.wixsite.com/u-n-owen>

オタクバーU.N.逢縁 Osaka Nazdrowie.

<https://owenosaka.com/>

BAR Flandre

<https://www.barflandre.com/>

本誌にかんする情報

編集者：狩野カチロー

発行：同人サークル狩野製作所 <https://www.greatfairywars.com/>

発行日・公開日：2024 年 10 月 1 日

頒布イベント：東方紅樓夢第 20 回，その他同人イベントで随時頒布

イラストにかんする情報

Stable Diffusion を用いた生成 AI を用いて作成

謝辞

素敵なビールを作ってくださいる企業の皆様

呑み処を守ってくださいるバーのマスターの皆様

本紙読者の皆様



お酒は二十歳になってから。

麦酒叢話

制作：狩野製作所